

鹿の食害で絶滅が心配される

峰の原高原のベニバナイチヤクソウ

(長野県須坂市峰の原高原)

ベニバナイチヤクソウも筆者の地域にはない花で、出逢いたい欲求の強い花の一つであった。山野草の雑誌で、見事な群生の写真を見て、強く憧れたものである。しかし、ネット情報の少ない時代は、場所の特定が困難であった。群生地は秘匿されている雰囲気である。

長野県の蓼科にスミレの取材をした折、偶然止まった道路沿いの林の中で、数株のベニバナイチヤクソウがスズランと一緒に咲いていた。これだけでも心躍らせて撮影した記憶がある。

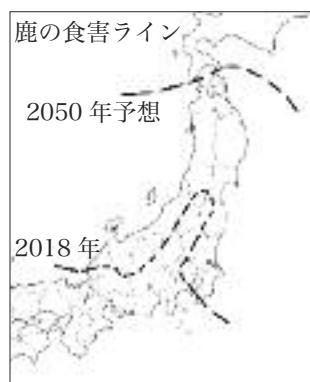
ネット情報が多くなった2018年、何とか出逢いたいと検索を重ね、長野県の八千穂高原にある八千穂自然園に群生地がある事を突止めた。同年6月17日に向かったが、驚いた事に園内にも関わらず、鹿の食害によって全滅していたのである。周辺のカラマツ林の中を捜索して、何とか百株程の群生を見たが、ここも時間の問題であろう。

鹿の食害は想像以上の深刻さで、長野県南部は絶滅に瀕していると判断し、北部を探した。2020年、長野県の北部、峰の原高原に群生地がある情報を得た。しかし、ピンポイントの位置情報は皆無で、ここも秘匿されている様子。足で探すしかないようだ。

6月20日、天気予報は昼頃から晴れるというので、早朝2時に自宅を出て、現地6時に着いた。高原は深い霧に覆われ、幻想的である。これで、撮影の条件は揃った。すると、林の中で一頭のシカが逃げて行った。嫌な予感がする。一時間程遊歩道を右往左往して探すと、ようやく群生地にたどり着く事ができたのである。鹿の食害はなく、何とか群生地は保たれていた。安堵し、撮影に入った。林はまだ霧に覆われていた。しかし、ここも時間の問題ではないかと危惧するものである。



峰の原高原のベニバナイチヤクソウ



鹿の食害は年々深刻で、長野県南部では、ベニバナイチヤクソウが壊滅しつつある。